循環

ハンドドライヤー

INDEX

■品番の見方

FJ- T 10T 3 - W

ハンドドライヤー ― T

タイプ ― 10T
09F：コンパクト形（水受けあり）
09G：コンパクト形（水受けなし）
10T：両面吹き出し形・薄型タイプ（ヒーター付）
10S：両面吹き出し形・薄型タイプ（ヒーターなし）
13V：両面吹き出し形・速乾タイプ

モデルナンバー ― 3

色記号 ― W
W：ホワイト
S：シルバー

使用上のご注意

使い方に関するご注意事項

●ゆっくり手を入れると、水が手前にはねる場合があります。
●いたずらや誤感知による連続運転防止として、約30秒間（FJ-T09F3-W、FJ-T09G3-Wは約60秒間）連続して使用すると自動的に運転を停止します。続けてご使用になるときは、一度手を抜いてから、再度手を入れてください。
●ハンドセンサー感知エリアに障害物があると「連続運転防止（自動停止）」がはたらき、手を入れても作動しない状態になります。障害物を取り除いてください。
●ノズルをふさがないでください。（故障の原因になります。）
●温度の低い雰囲気中や停止時間の長い場合、ヒーター「入」の運転であっても温風が冷たく感じることがあります。（ヒーター付機種）

お手入れに関するご注意事項

●水受けカップの水は、満水ライン（排水ライン）を超える前にこまめに捨ててください。（長時間水がたまった状態で放置しますと、ニオイの原因となります。また水受けカップから水があふれて床面を濡らしたり、水を本体内部に吸い込むおそれがあります。）
●変質・変色防止のために、酸性・アルカリ性・塩素系・植物系洗剤、シンナー・ベンジン・アルコールなどの溶剤、かびとり剤、研磨剤、除光液、金属・ナイロンタワシなどは使わないでください。
●化学ぞうきんを使うときはその注意書きに従ってください。
●ハンドセンサー表面が汚れていると感知不良や誤作動の原因になりますので、やわらかい布で汚れをふき取ってください。
●手に洗剤や薬品などがついたまま使わないでください。（洗剤や薬品が本体に付着し、変質や変色の原因になります。）

施工上のご注意

取り付けに関するご注意事項

●吸い込み口付近に水が付着しないような位置に設置してください。（水を製品内部に吸い込んだ場合、故障や吸音材が吸湿して臭いが発生する場合があります。）
●十分強度がある平らで垂直な壁面に確実に取り付けてください。（落下してけがをしたり、破損の原因になります。また、壁面に凹凸がある場合は、吸い込み口の妨げや製品の傾き・隙間の原因になります。）
●本体周囲の壁材や床材は耐水性のある材料をご使用ください。（手を激しく動かすなどの乾かし方や急に水受けカップを引き抜くなどの水受けカップの水の捨てかたによっては、水が周囲に飛び散ることがあります。）（設置環境によっては、製品近くの壁面や鏡に、水滴や気流による汚れが付着することがあります。）
●次のような場所には取り付けないでください

故障や動作不良、または寿命が短くなる原因になります。
・0℃未満になる場所
・40℃以上になる場所
・結露する場所
・乗り物などの振動のある場所
・日光やスポットライトなどの強い光があたる場所
・消毒槽のある部屋、プール、浴室
・油の飛沫や油煙の多い場所
・直接水がかかる場所
・腐食性、中性、還元性ガスのある場所

火災や感電、故障の原因になります。
・屋外や浴室など湿気が多い場所や直接水のかかる場所。
・粉塵の多い場所や腐食性ガス、可燃性ガスの雰囲気中。
・塩害地域。

手の水がかかるおそれがあります。
・食材や食器などの近く

電源接続に関するご注意事項

●電源には漏電遮断器を取り付けてください。（故障や漏電の際に、感電する原因になります。）

【コンセントを使う場合】
●定格15A・交流100Vの専用コンセントを単独で使ってください。（他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。）また、ラジオなどをこの製品と同じコンセントに接続したり、近づけたりしないでください。（ラジオなどに雑音が入ることがあります。影響される距離は電波の受信状態により異なります。）
●電源には漏電ブレーカーを取り付けてください。（故障や漏電の際に、感電する原因になります。）
●電源コードのプラグは、確実に接続してください。（不確実な接続は火災の原因になります。）

【専用配線工事をする場合】
●電源コード穴（引き込み位置）の位置に注意してスイッチボックス（JIS C8340現地手配）をお取り付けください。（スイッチボックスを使用しなかったり、電源コード引き込み位置が不適当な場合、火災の原因になります。）
●内線規程に従い屋内配線ケーブル（VVFケーブル：ø1.6またはø2.0）を速結端子に接続してください。また、製品取り付け前のVVFケーブルは、以下に示す壁面からの有効寸法を確保してください。（速結端子への接続時、適正な長さに切断）
FJ-T13V1：約350mm、FJ-T10S3・T10T3・T09F3・T09G3：約500mm

※詳細については、製品の取扱説明書・工事説明書を参照ください。